

経営比較分析表（平成28年度決算）

高知県 黒潮町

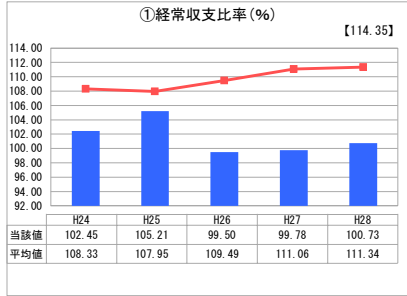
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	53.66	98.81	2,270	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,616	188.59	61.59
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
11,421	228.76	49.93

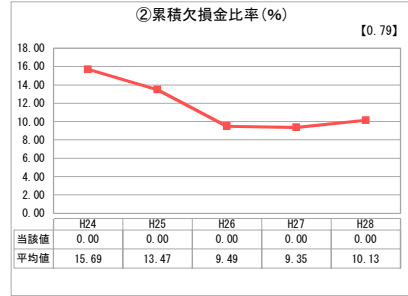
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- [] 平成28年度全国平均

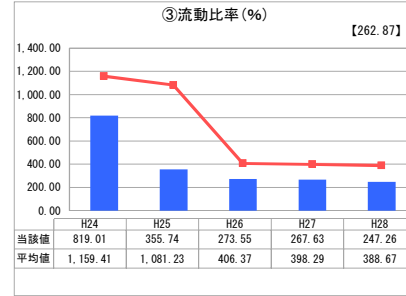
1. 経営の健全性・効率性



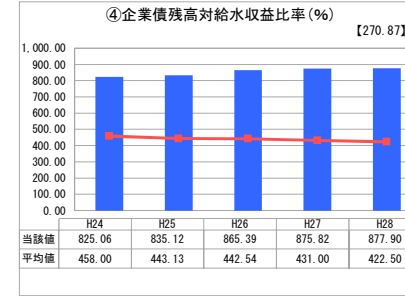
「経常損益」



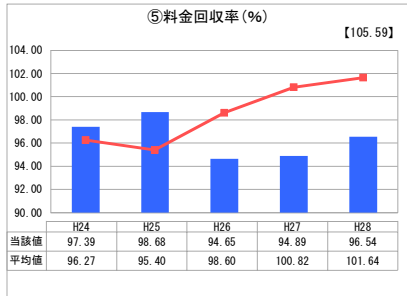
「累積欠損」



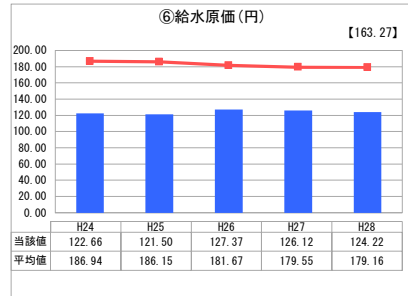
「支払能力」



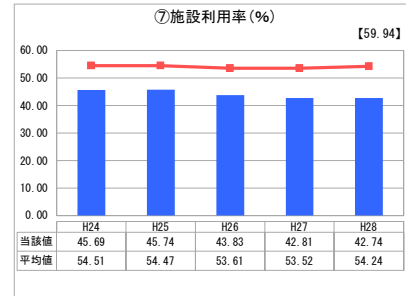
「債務残高」



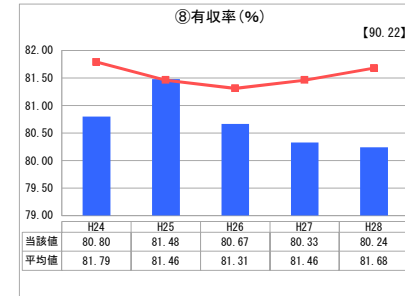
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

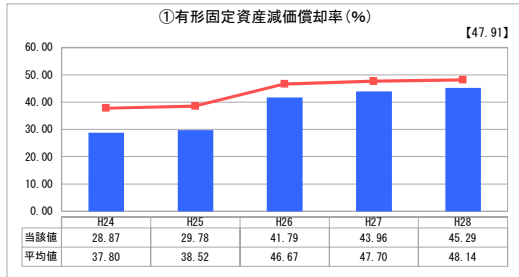


「施設の効率性」

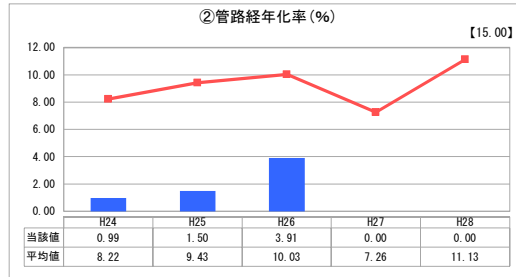


「供給した配水量の効率性」

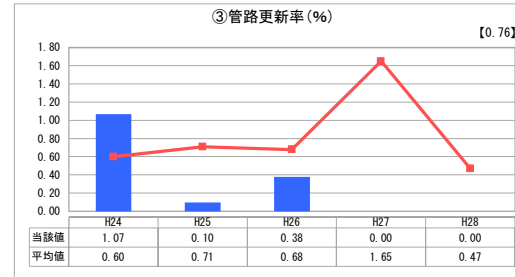
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

企業債残高対給水収益比率が類似団体平均値の2倍程度、経常収支比率、料金回収率、給水原価については差があり、低い状態にあります。また、施設利用率の低さについては施設統合等を図る必要があります。水道事業基本計画及び財政シミュレーションを基に水道料金改定を平成30年度に実施します。

2. 老朽化の状況について

有収率や管路の法定耐用年数を考慮しながら、管路更新率が1%を下回らないように管路更新に取り組む必要があります。水道事業基本計画に基づき、管路更新を新設パイプスの布設等と合わせて計画的に実施していく予定です。

全体総括

上記を踏まえ、将来にわたり安全で良質な水を安定的に供給するために、その収支バランスが肝要で、水道事業基本計画に基づきながら、管路更新を計画的に行うとともに、財源となる水道料金の改定を行ってまいります。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。